

復興公営住宅の今後の対応について

平成26年度の募集結果を踏まえた、復興公営住宅の今後の対応については以下のとおりとする。

- ・復興公営住宅の新たな整備は行わない。
- ・残り住戸（119戸）に対する公募は行わず、優先順位募集の落選者と、一般募集の落選者のうち住宅困窮度が高い特別減免世帯（月額所得8万円以下）について、生活再建推進室と連携して入居調整を行う。
- ・優先順位落選者（対象57世帯）に対しては、残りの車いす住戸等を活用する。
- ・特別減免世帯（対象約220世帯）に対しては、残り住戸と市営住宅（鶴ヶ谷など）を改修して活用する。
- ・この際入居条件を緩和し、3Kは単身者、4DKは2人以上でも可とする。

（参考）平成26年度の募集結果

募集方法	募集（戸）	応募（世帯）	当選（世帯）	落選（世帯）
優先入居（防集）		130	130	—
優先順位	1,311	969	836	133
コミュニティ入居	963	91	91	—
一般 第1回	1,444	2,247	1,059	1,188
一般 第2回	433	806	262	544
一般 第3回	164	342	105	237

- ・平成25年度までの募集を含め、これまでの募集で3,087戸（96%）が決定し、残りは119戸（車いす住戸51戸、一般住戸68戸）である。

（団地毎の決定状況は別紙参照）

<スケジュール>

- ・3月23日～31日 入居調整対象の優先順位世帯募集（対象57世帯）
- ・4月中旬 入居調整対象の優先順位世帯募集抽選会（入居調整順位決定）
- ・4月末 優先順位世帯入居決定
- ・4月～6月 一般募集の落選者のうち特別減免世帯（対象約220世帯）に対し、3回続けて落選された方（46世帯）から順に、空き住戸等への入居意向確認を行う
- ・6月中旬 概ねの必要戸数を確定し、入居調整対象者向け募集を開始
- ・7月下旬 特別減免世帯の入居調整順位決定のための抽選
- ・8月中旬 入居決定（平成27年度末までの改修工事を予定）

復興公営住宅入居決定状況

(平成27年3月30日現在)

	整備戸数	入居決定数	空戸数	空戸数	
				車いす住戸の空き住戸数	車いす住戸以外の空き住戸数
北六番丁	12	12	0	0	0
上原	27	21	6	1	5
田子西	176	173	3	3	0
荒井東(第1期)	197	193	4	2	2
若林西	152	152	0	0	0
鹿野	70	69	1	1	0
芦の口	39	39	0	0	0
通町	142	140	2	2	0
霊屋下	33	32	1	1	0
霊屋下第二	88	85	3	3	0
落合	112	105	7	4	3
角五郎	47	47	0	0	0
梅田町	66	65	1	1	0
小田原	58	56	2	2	0
鶴ヶ谷第二	28	28	0	0	0
幸町第三	38	38	0	0	0
燕沢東	63	61	2	2	0
燕沢	55	52	3	2	1
新田東	35	35	0	0	0
田子西第二	168	163	5	5	0
宮城野	88	87	1	1	0
仙台駅東	27	27	0	0	0
荒井東(第2期)	101	98	3	2	1
六丁の目西町	115	112	3	3	0
中倉	58	55	3	2	1
大和町	103	100	3	3	0
荒井第二	34	34	0	0	0
六丁の目中町	43	42	1	1	0
あすと長町	163	161	2	2	0
あすと長町第二	96	92	4	3	1
あすと長町第三	68	68	0	0	0
泉中央南	193	190	3	3	0
鶴ヶ谷第三	17	17	0	0	0
卸町	98	98	0	0	0
荒井南	75	74	1	1	0
荒井南第二	55	54	1	1	0
茂庭第二	100	46	54	0	54
荒井西	14	14	0	0	0
六郷(津波浸水)	50	50	0	0	0
岡田(津波浸水)	10	10	0		0
戸建て(防災集団)	92	92	※対象世帯と個別に調整中		
合計	3,206	3,087	119	51	68